

# 第1回補助金適正化審査会議事録

平成17年4月18日

発 言 者	発 言 要 旨
会 長	<p>委嘱状交付及び区長挨拶（省略）</p> <p>委員の自己紹介（省略）</p> <p>区側出席者の紹介（省略）</p> <p>会長の選出及び副会長の指名（省略）</p> <p>審査会の傍聴及び議事録の作成についての説明（省略）</p> <p>本日の議事に入りたい。配布資料について、事務局から説明をお願いします。</p>
財政課長	<p>補助金適正化審査会の設置に至る経緯について、資料1～資料5を使って説明。今後のスケジュールについて、資料6を使って説明。</p>
会 長	<p>説明資料について、質問等があればお願いしたい。</p>
委 員	<p>「保護生けがき」や「保護樹林」に対して補助金が出ているか。</p>
財政課長	<p>それぞれ助成制度がある。</p>
会 長	<p>区が、国や都の補助基準によって支出しているもの、国や都の補助基準以上に上乗せしているもの、区単独のもの等が整理されているか。</p>
財政課長	<p>資料として整理する。</p>
委 員	<p>補助金とはどのような性質のものなのか。区からもらった補助金の中から、外部に補助金を出している場合もあり、また、委託金などという形もある。</p>
財政課長	<p>非常に区別・区分がつきにくい。補助の場合は、奨励する援助する支援するという側面があるが、委託は、実施主体は区であり、補助と委託では実施責任が全く違ってくる。</p>

委 員	公募型の補助金なども、検討課題として考えることは可能か。
財政課長	個別補助金の審査以外に、今後の補助金のあり方、あるいは補助金審査のあり方についても意見をいただきたい。
会 長	<p>委託か補助かは、仕組みとしては別だが、委託的なものを補助金で支出している例もあり、あいまいである。今後、どういうふうに仕分けをしていくかということも論点になってくる。</p> <p>また、公募補助金も、特定の目的での公募もあれば、一般的な、事業提案型のようなものもある。そのようなことも視野に入れて検討していきたい。</p>
政策経営部長	杉並区の公募型に近い補助金として、まちづくり助成金がある。まちづくり活動を行う団体が提案して、それを公開の場で審査（プレゼンテーション）して選んでいる。
会 長	非常に多様な補助金があり、相当勉強して、心してかからないといけない。事務局に、わかりやすい資料等を的確にご用意してもらいたい。
財政課長	<p>今回は、5月23日（月）午後3時から開催したい。3回目は、6月20日（月）午後3時としたい。</p> <p>進め方としては、個人に対する補助が27件あり、2回程度で検討いただく。その後、団体に対する補助は、行政分野ごとにそれぞれ2回ずつぐらい、合計9回で考えている。</p>
会 長	分野ごとだと、いろいろな施策間、施策内容のつながりが見えてくるが、一方で、必ずしも同じ政策分野でなくても、対象団体が似たようなものが別の分野にあるかもしれない。審査結果を、毎回ごとに確定していくよりは、場合によっては、さかのぼって、ある程度同じような基準を当てはめていかなければいけないということになる。審査表に書き込んで、議事録として明確な形で出ていくと、受け取られ方の問題というものもあるので、そこら辺は十分留意していかなければいけない。